

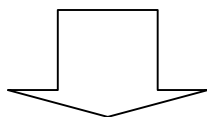
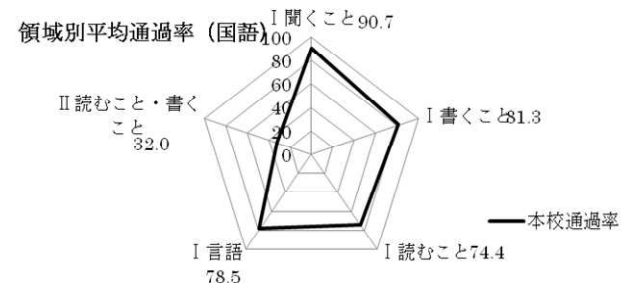
## 平成 25 年度「基礎・基本」定着状況調査 国語（呉市立昭和西小学校）

（昨年度の課題）

- ・ 段落と段落の内容を理解し、関係を考えて文を入れることができにくかった。（読むこと）
- ・ はがきの宛名や名前を書く位置が理解できていなかった。（書くこと）

学校通過率

71.5%



（今年度の取組）

- ・ 人物に注目しながら、文章を読ませる。
- ・ 全校朝会などでの話を、大事なことを聞き漏らさないように、聞く習慣をつける。
- ・ 話を聞きながら、大事なことをメモする練習をする。
- ・ 「のびっ子タイム」や朝学習の時間に、漢字、ローマ字、主語述語の関係や辞書の引き方について反復練習を行う。

（今年度の成果）

- ・ 言語事項において、漢字の読み書きができるようになってきている。（小問1・2…平均通過率 85.6%）

（今年度の課題と要因及び対策）

【国語調査票】

- ・ 領域別通過率を見ると、タイプII（活用問題）の通過率がよくない。
- ・ 叙述を基にした想像（三2-②）が通過率 54.9%  
叙述から登場人物の気持ちを想像することができていない。  
→登場人物の気持ちがわかるキーワードとなる叙述を見つけ、叙述からイメージをふくらませて読ませる。
- ・ 考えを明確にした構成（五2-①）が通過率 37.8%
- ・ 理由や事例を挙げた記述（五2-②, ③）が通過率 17.1%, 14.6%  
意見文を書くときに、自分の考えを思いつくままに書いている。  
→結論先行型の話形を習慣づけ、理由と具体的な事例を書く機会を多くもたせる。

【質問紙】

- ・ 国語の授業では、辞書を使って調べる 39.0%  
国語の授業などで、わからない言葉があるときにはすぐ調べられるように、辞書を手元に置いて学習する習慣をつけさせる。
- ・ 国語の授業では、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いている 53.7%  
国語の授業などで、大事なことを伝えることができるように、結論先行型の話形で話すようにさせる。